

金沢美術工芸大学

デザイン科 製品デザイン専攻



Q. 金沢美大を志望した理由は？

小さい頃から絵を描くことが好きだったので、母の家事の不便を解決する便利グッズを作る事も趣味でした。せっかくなら、その特技を活かして、美術大学でデザインを勉強したいと思いこの大学を志望しました。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

先輩方との縦の繋がりを大事にしている学校だと感じました。カリキュラムでも先輩方と班になって行う課題があったり、先輩たちから学ぶことがたくさんありました。教授も面白い方ばかりで、毎日クラスメイトと切磋琢磨しながら作品作りに没頭できる環境が整っています。

Q. 将来の目標は？

プロダクトデザイナーになって、世界中の日常の不便を解決したいです。

Q. 金沢美大を志望した理由は？

高校生の時に見た金沢美大の卒業制作展の作品に感動し、私もやってみたいと思ったからです。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

制作の事から、日々の些細な事まで、何か困った時に親身になってくれる人が多いなあと思いました。

Q. 将來の目標は？

金沢という場所に居ながらにして、生活を豊かにできるような作品を創っていきたいです。

Q. もっと知りたい！学校のコト

美術科 日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの中の美術部分で活躍し、貢献する人材の育成をめざしています。

デザイン科 視覚デザイン専攻、製品デザイン専攻、環境デザイン専攻

デザイン科は、それぞれの専門分野における教育をより高度なものとしつつ、3つの専門にこだわって連携した教育を行っています。グローバル化、多様化の進む現代の会社において、デザインの世界を広く眺めながら、優れた専門性を発揮できる人材の育成をめざしています。

工芸科

陶磁、漆・木工、金工、染織

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。2年次以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかの領域を選択し、各々の素材に関する多様な技術の習得、現代の社会的ニーズに適応した、より高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成をめざしています。

アートの街の、アートの大学。

美術科
油畫專攻



美術科 視覚デザイン専攻



Q. 金沢美大を志望した理由は?

憧れの人がこの大学出身で、その人の後を追いかけて入学しました。1年浪人して入学したのですが、いろんな人に囲まれて新しい発見の日々です！

Q. 金沢美大に入って感じたこと

恵まれた環境で制作ができ、先生方や同級生・先輩たちと過ごす学生生活がとても楽しいです。頼れる人が回りにたくさんいることも心強いです。

Q. 将来の目標は?

具体的な目標はありましたが、様々な体験をしていくうちに考えが変わりつつあります。どういう結果になろうと、前進して行けるよう頑張りたいです。

Q. 金沢美大を志望した理由は?

オープンキャンパスで見た作品がとても魅力的だったことと、デザインの道に進むためにはどうすればもっと良い作品がつくれるのか、どのように訓練すればよいのかをいちから学びたいと思ったからです。

Q. 金沢美大に入って感じたこと

学生と先生の距離が近く、教授も楽しい人が多く相談しやすいです。デザイン科では、授業で作った作品を必ず全員でプレゼンテーションするのですが、その時に他の人のアイディアとか表現の仕方を見る事ができます。毎回驚かされると、悔しい思いをすることもありますが、それがモチベーションにも繋がっています。

Q. 将来の目標は?

グラフィックデザイナーになって、限られた条件の中でもクライアントも自分も満足できる作品を作りたいです。人が惹きつけられるような、面白い、楽しいと思つてもらえるものを形にできるよう努力していきたいです。

金沢美術工芸大学

石川県金沢市小立野5-11-1

TEL:076-262-3531

MAIL:admin@kanazawa-bidai.ac.jp

金沢美大



美と地の創造を通して、
地域に根差し、世界に発信する大学

金沢美術工芸大学は、これまで美術、デザイン、工芸、芸術学の分野において国内外で活躍する数多くの有為な人材を排出し、我が国の芸術文化の創造とユネスコ創造都市金沢の発展に重要な一翼を担ってきました。今後、地域に根差し世界に開かれた大学として、未来社会を拓く個性豊かなクリエーターを育成する教育を実践し、国際的に展開する研究を推進します。

